

令和 2 年度定時社員総会議事録

日 時 令和 2 年 5 月 3 1 日（日）14 時 00 分～16 時 15 分

場 所 東京都 TKP ガーデンシティ PREMIUM 品川 ホール 6 A

代議員（社員）総数 296 名（過半数は 149 名、3 分の 2 は 198 名）

出席代議員数 279 名（うち委任状による出席者 227 名）

出席役員 理事 森山寛、村上信五、奥野妙子、塩谷彰浩、土井勝美、中川尚志、
春名眞一、兵頭政光、福與和正、藤岡治、山唄達也。
高橋晴雄、猪原秀典、香取幸夫、川内秀之、西崎和則、丹生健一、
藤枝重治、吉崎智一（以上 8 名は WEB 会議による出席）

監事 浅井英世、甲能直幸、古川侃
（浅井・古川両監事は WEB 会議による出席）

議事録作成者 理事 森山寛

司会の池園哲郎幹事から開会宣言があった後、西崎和則会長（第 121 回通常総会・学術講演会）から挨拶があった。

開 会

定款第 16 条に基づき森山 寛理事長を議長に選出した。

森山 寛議長は、WEB 会議システムにより、出席者の音声即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることが確認されて、議事に入った。

森山 寛議長から、定時社員総会・学術講演会開催にあたり、西崎会長はじめ岡山大学関係者に対する謝辞、ならびに新型コロナウイルス感染症拡大の状況下において開催時期・場所を変更しての開催であること、感染拡大に留意した開催方法としたこと、例年より開催時間を短縮したこと、および換気のための休憩時間を設けること等について説明があった。

また、森山 寛議長から、今回の代議員の出席者は 52 名、委任状による出席者 227 名の計 279 名で、定足数 149 名（今回は定款変更の決議がないため、代議員 296 名の過半数）に達しており、定款第 14 条第 1 項および第 18 条第 1 項に基づき令和 2 年定時社員総会を開会するとの宣言があった。

議事録署名人には医育機関から東京都地方部会の塚原清彰代議員、開業関係から神奈川県地方部会の沖久 衛代議員の 2 名を指名した。

次に、令和元年度の物故会員 54 名に対して、黙祷を捧げた。

その後、審議に入った。

1. 報告事項

第1号報告 令和元年度事業報告について

令和元年度事業報告について、高橋晴雄副理事長から全体の概要の報告があり、各委員会の事業および業務の詳細については、令和2年度定時社員総会次第資料に掲載している旨説明があった。

第2号報告 令和2年度事業計画について

令和2年度事業計画について、高橋晴雄副理事長から令和2年度定時社員総会次第資料に基づき報告があった。

第3号報告 令和2年度収支予算書について

丹生健一理事から、令和2年度収支予算書（損益計算ベース）および同（資金ベース）について令和2年度定時社員総会次第資料に基づき報告があった。

地方部会を除く日耳鼻本部の収支予算としては、

I 事業活動収支の部では、事業活動収入は、前年度に比べて15,575,000円増の620,917,000円となった。増額の主なものは、5事業収入 5) 専門医審査登録収入で専門医登録更新者が2,700人と多いことから約2,800万円の増を見込んだことなどである。また、減額の主なものは、5事業収入 1) 定期集会参加費等収入で約400万円の減額を見込んだこと、およびGSK医学教育事業助成金の終了に伴う1,000万円がなくなることである。

事業活動支出は、1,664,000円減の640,671,000円を見込んでいる。1事業費は、1,305,000円減の520,344,000円である。増額の主なものは、(2)職員の退職に伴う退職給付費、(11)印刷製本費、(13)総会、秋季大会に伴う賃借料、(17)支払負担金で専門医機構への負担金増によるもの等である。一方、(1)職員給料手当、(4)会議費、(15)総会に伴う諸謝金、(20)総会、秋季大会に伴う委託費などが減額となっている。また、2管理費は、359,000円減の120,327,000円である。増額の主なものは(21)支払手数料でクレジットカードによる会費納入に係る経費である。一方、減額の主なものは、(5)旅費交通費、(20)会員情報新システムに伴う委託費である。

II 投資活動収支の部では、投資活動収入は16,610,000円で、退職給付積立預金取崩収入10,610,000円がその大部分を占めている。投資活動支出は10,950,000円で、奨学基金積立預金支出7,000,000円、退職給付積立預金支出3,450,000円等である。

IV 予備費支出の部では、予備費3,000,000円を計上している。

以上日耳鼻本部をまとめると、当期収支差額は△17,094,000円であるが、これに前期繰

越収支差額 58,000,000 円を加えて、次期繰越は 40,906,000 円となっている。

地方部会を含む日耳鼻全体としては、

I 事業活動収支の部では、事業活動収入 838,690,730 円、事業活動支出 856,666,224 円で、収支差額は△5,615,961 円である。

II 投資活動収支の部では、投資活動収入は、21,296,000 円、投資活動支出 15,851,000 円で、投資活動収支差額は 5,445,000 円である。IV 予備費支出の部では、予備費は 3,230,000 円である。

これをまとめると、当期収支差額は△15,760,494 円であるが、これに前期繰越収支差額 274,887,714 円を加えて、次期繰越は 259,127,220 円となっている。

第 4 号報告 専門医制度について

奥野妙子理事から、専門医制度について、①令和 2 年度専門医更新における新型コロナウイルス感染症への対応、②2021 年度専門研修プログラム、③2021 年度シーリング、④専門医認定試験の報告があった。

第 5 号報告 会員情報新システムについて

高橋晴雄副理事長から、会員情報新システムについて、①現在の各システムの運用状況、および②専門医更新のためのオンライン申請などの報告があった。

第 6 号報告 第 122 回総会・学術講演会の宿題報告について

大森孝一次期会長から第 122 回総会・学術講演会の宿題報告を

・佐藤宏昭会員（岩手医科大学教授）

「急性感音難聴診療の新展開」

・香取幸夫会員（東北大学教授）

「嚥下障害治療の開発 ―医学、歯学、工学の連携―」

に依頼したことの報告があった。

第 7 号報告 日耳鼻研究奨励賞について

高橋晴雄副理事長から、令和元年度日耳鼻研究奨励賞受賞者について

・小林謙也（国立がん研究センター中央病院）

「患者由来腫瘍移植片モデルを用いた腺様嚢胞癌の進展機序の解明」

・熊井琢美（旭川医科大学）

「頭頸部癌診断・治療学講座 頭頸部癌におけるがんペプチドの応用

「がんワクチンとバイオマーカー」

を決定したことの報告があった。

第8号報告 日耳鼻秋季大会について

村上信五副理事長から、日耳鼻秋季大会は専門医講習会、夏期講習会、補聴器相談医取得のための講習会および臨床医会セッションの充実と効率化を図る観点から設けられたことについての説明、ならびにその1回目である第34回日耳鼻秋季大会（本年11月7日・8日、大阪国際会議場）について報告があった。

2. 決議事項

第1号議案 役員選任に関し、承認を求める件

森山 寛議長から、定款の定めにより、本総会終結をもって、理事及び監事全員が任期満了となるため、定款に従い令和元年9月に役員候補者選出委員会が設置され、管理会の長を平川勝洋会員に、管理会の委員を柿木章伸、假谷 伸、平林秀樹、森 恵莉の各会員に委嘱したことの報告があった。

また、今回は、総会の進行を効率よく進める観点から、総会に先立ち、本日午前11時30分から開票作業を行ったため、病院関係から東京都地方部会の吉川 衛代議員、開業関係から神奈川県地方部会の星川智英代議員に開票立会人を指名したことの報告があった。

平川勝洋役員候補者選出管理会の長から、以下の説明があった。

- ・定時社員総会の日程変更や新型コロナウイルス感染症の拡大の状況から、代議員の出席者が少なくなる事態が懸念されたため、選挙の公平性を確保する観点から、定時社員総会前に、郵送による投票を行った。
- ・そのため、5月1日に理事候補者投票用紙および女性候補者信任投票用紙を送り、5月18日を投票締切りとした。
- ・今回の理事候補者の投票は、理事に女性枠が設けられた最初の投票であった。
- ・理事候補者の投票は、女性立候補者を除いた20名に対して17名に投票し、女性立候補者1名については、信任投票を行った。
- ・監事については、定員3名に対して、立候補者3名であるため、投票は行わなかった。
- ・投票用紙の入った封筒については、日耳鼻事務局において未開封のまま、鍵をかけて保管されていた。

上記説明の後、平川勝洋役員候補者選出管理会の長から、開票の結果、選出された理事候補者は、50音順で猪原秀典、大森孝一、小川 郁、奥野妙子、欠畑誠治、香取幸夫、小島博己、阪上雅史、塩谷彰浩、土井勝美、中川尚志、丹生健一、春名眞一、兵頭政光、藤枝重治、村上信五、吉崎智一の17名であるとの報告があった。

森山 寛議長から、17名を理事候補者として信任することについて提案があり、審議の上、これを承認した。また、監事立候補者の甲能直幸、高橋 姿、明海国賢の3名を監事候補者として信任することについて提案があり、審議の上、これを承認した。

次に、森山 寛議長から、役員を選任決議を個別に行うとの提案があり、新理事として、猪原秀典、大森孝一、小川 郁、奥野妙子、欠畑誠治、香取幸夫、小島博己、阪上雅史、塩谷彰浩、土井勝美、中川尚志、丹生健一、春名眞一、兵頭政光、藤枝重治、村上信五、吉崎智一の17名および新監事として甲能直幸、高橋 姿、明海国賢の3名を、それぞれ過半数以上の賛成により選任した。

引き続き、一般社団法人日本臨床耳鼻咽喉科医会から理事として推薦された福與和正役員候補者および藤岡治役員候補者について選任決議を行い、両名ともそれぞれ過半数以上の賛成により選任された。

なお、被選任者は、それぞれその就任を承諾した。

第2号議案 令和元年度貸借対照表および正味財産増減計算書に関し、承認を求める件

丹生健一理事から、令和元年度貸借対照表、正味財産増減計算書および資金ベースの収支決算書について、令和2年度定時社員総会次第資料に基づき説明があった。

地方部会を除く日耳鼻本部の収支決算としては、

I 事業活動収支の部では、事業活動収入は、予算額に対し、45,021,975円増の650,363,975円となった。増額の主なものは、4 会費収入約400万円増、5 事業収入1)

定期集会参加費等収入約1,840万円増、2) 展示会場収入約1,170万円増、曾田豊二記念財団に伴う7 寄付金収入約700万円増、総会・専門医講習会やICカード発行手数料収入に伴う雑収入約1,400万円等である。一方、減額の主なものは、5 事業収入5) 専門医審査登録収入約300万円減である。

事業活動支出は、予算額に対し、23,767,461円減の618,567,539円となった。

1 事業費は、8,220,172円減の513,419,828円で、増額の主なものは、総会や専門医講習会に伴う(4) 会議費約430万円増、(16) 修繕費約150万円増、専門医講習会やGSK事業に伴う(20) 委託費約400万円増である。減額の主なものは、(1) 職員給料手当約200万円減、(5) 旅費交通費約1,050万円減、(11) 印刷製本費360万円減、(13) 賃借料約360万円

減である。

2 管理費では、15,538,289 円減の 105,147,711 円となっている。増額の主なものは、会費のクレジットカード支払いに係る(21)支払手数料約 70 万円である。また、減額の主なものは、(5)旅費交通費約 430 万円減、および(16)租税公課約 800 万円減である。

以上、事業活動収支差額は、17,239,000 円増の△36,993,000 円である。

Ⅱ 投資活動収支の部では、投資活動収入は、奨学基金取崩収入および事務所建替積立預金取崩収入により、58,000,000 円であり、投資活動支出は、奨学基金積立預金支出、事務局パソコン更新に伴う什器備品購入支出および退職給付積立預金支出で 14,203,190 円である。収支差額は 2,653,190 円増の 43,796,810 円である。

Ⅲ 財務活動収支の部では、カネオビル 5 階の臨床医会事務所賃借料等の立替分として立替金収入 24,276,546 円がある。

以上、日耳鼻本部の決算をまとめると、当期収支差額は 85,859,086 円であり、前期繰越収支差額が△18,595,231 円あったため、次期繰越は 67,263,855 円である。

また、事務所建替積立金の残額は 1 億 8 千 2 百万円となった。

地方部会を含む日耳鼻全体としては、Ⅰ 事業活動収支の部では、事業活動収入 837,638,840 円、事業活動支出 833,236,088 円で、収支差額は 4,402,752 円である。

Ⅱ 投資活動収支の部では、投資活動収入は、66,352,880 円、投資活動支出 19,516,894 円で、収支差額は 46,835,986 円である。

Ⅲ財務活動収支の部では、立替金収入 24,276,546 円などがある。

以上、当期収支差額は 61,504,578 円であり、これに前期繰越収支差額 245,099,523 円を加えて、次期繰越は 306,604,101 円となっている。

監事を代表して古川侃監事から、令和 2 年 4 月 22 日に浅井英世、甲能直幸、古川侃監事により監査を行ったが、適正である旨の報告があった。

会計収支については、赤字予算を組んでいたが、結果的に約 2 千 4 百万円の黒字となり、最終的な繰越金は 6700 万円となった旨の報告があった。

また、運営に関して、①収支は黒字となったが、新型コロナウイルス感染症流行の影響を受けての事業費、管理費の減少は看過できない、②新型コロナウイルス感染症の流行に翻弄されたが、Web 会議の開催やホームページによる同感染症への対応ガイドの情報発信や更新については、適切、迅速であり、他科からの評価も高い、③会議のペーパーレス化は職員の負担軽減、省力化、効率化にも寄与した、④新型コロナウイルス感染症流行で閉院を早める開業医が出ることを危惧しているが、このような困難な状況においてこそ解決

に向けて日耳鼻が一致団結することが重要である、また、⑤今回のような緊急時や災害時における総会や学術集会等の開催方法について、定款の見直しが今後必要である、との報告および意見が述べられた。

加えて、森山 寛理事長から、公認会計士による報告書においても、適正に管理されている旨記載されているとの説明があった。

令和元年度貸借対照表および正味財産増減計算書について、審議の上、原案のとおり承認した。

第3号議案 定款施行細則の変更に関し、承認を求める件

高橋晴雄副理事長から、準会員の会費を9,000円とする内容の定款施行細則の変更について、令和2年度定時社員総会次第資料に基づき説明があり、審議の上、原案のとおり承認した。

第4号議案 第125回総会・学術講演会の会長候補者選出に関し、承認を求める件

森山 寛理事長から、第125回総会・学術講演会の会長候補者選出について、昭和61年2月理事会決定「会長の選出方法に関する理事会申し合わせ」に基づき、令和元年7月に、参与、代議員に会長候補者の推薦を依頼したこと、およびその結果を参考にして令和2年4月24日開催の理事会において、会長候補者として大阪府地方部会の猪原秀典会員を候補者として承認した旨報告された。猪原秀典会員を会長とする提案に対し、審議の上、これを承認した。

3. その他

1. 一般社団法人日本臨床耳鼻咽喉科医会について

配付資料Ⅲその他に基づき、福與和正理事から、本年4月1日に正式に設立され活動を開始したこと、7,000名を超える会員数であること、日耳鼻秋季大会において臨床医会セッションを開催することなどについて説明があった。

2. 摂食嚥下障害診療における耳鼻咽喉科と歯科との連携について

配付資料Ⅲその他に基づき、森山寛理事長から、「摂食嚥下障害診療における耳鼻咽喉科と歯科との連携」に関する提言の背景および経緯について説明があった後、日本歯科医師会との協議会メンバーである兵頭政光理事から、基本原則および講演会や研修会等における両者の協力推進について説明があった。

3. 関連する学会の集約化について

配付資料Ⅲその他に基づき、森山寛理事長から、関連する学会の機能的連携、集約化、統合について、現状の説明があった。

4. 名誉会員について

森山寛理事長から、名誉会員の有資格者3名については、現在日耳鼻等で役職に就いているため、名誉会員の推薦を見送ることが4月24日の理事会において承認された旨の報告があった。

5. 新型コロナウイルス感染症への対応について

配付資料Ⅲその他に基づき、村上信五副理事長から、学術委員会の新型コロナ感染症対策WGが作成した新型コロナウイルス感染の対応ガイド等を日耳鼻ホームページに「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）情報」として掲載し、会員・医療関係者および一般に向けて情報提供を行うとともに、随時更新した旨の報告があった。

以上の報告の後、今回は、公益財団法人国際耳鼻咽喉科振興会（SPIO）野村恭也理事長からの挨拶および総会会長に対する感謝状の贈呈を割愛する旨の発言があった。

以上ですべての議事が終了した後、森山 寛議長から謝辞があり、閉会宣言があった。

令和2年5月31日

一般社団法人日本耳鼻咽喉科学会 令和2年度定時社員総会

議事録署名人（議長） 森 山 寛 ⑩

議事録署名人（代議員） 塚 原 清 彰 ⑩

議事録署名人（代議員） 沖 久 衛 ⑩